

一人一人の努力

富士宮市内中学校

浦田さん

僕が住んでいる柚野は、周りにたくさん山があり、自然が豊かだ。そんな柚野の地域の人たちは、自然を守るためにいろいろな活動をしている。

「暑いー!」

そんなことをずっと言いながら、僕は友達と柚野山の雑草を抜いていた。僕が通っている中学校では、地域の自然のことを調べたり、環境を守る活動をする「柚香」という授業がある。その柚香で、僕たちは柚野山の雑草を抜くことになっていた。そんな時、柚野の自然を守る活動をしている地域の人に出会った。

「とても暑いですね。」

と、言うと、地域の人は、

「そうねー。最近は地球温暖化が進んでいるからね。私たちは、この地球温暖化で柚野の自然が壊れてしまわないようにいろいろな活動をしているのよ。」

と言っていた。この人たちが柚野の豊かな自然を守っているのかと思

うと、地域の人たちがかっこよくみえた。その後学校に帰り、地域の人たちがどんな活動をしているのかを調べてみた。調べた結果、地域の人たちは植樹や柚野山の整備、草刈りやごみ拾いをしていた。さらに調べてみると、「里山整備」という柚野山をきれいにする活動をやっていて、中学生も自由に参加して良いと書いてあった。僕も地域の人たちみたいに柚野の自然を守りたいと思い、この里山整備に参加することにした。

里山整備を行う日、集合場所に行ったら、地域の人たちはとても喜んでくれた。

「中学生が来てくれるなんて嬉しいねー。今日は一緒に頑張ろうねー!」
と言ってくれた。柚野山を登っていくと、雑草が高く伸びていて、落ち葉もたくさん落ちていた。その日は日差しがとても強く、すごい汗が出てきたけど、地域の人たちと楽しく話しながら柚野山をきれいにしていた。そして、地域の人たちに柚野のことについていろいろ質問をした。そしたら、僕が知っている事以外にも、柚野はかなり多くの問題があることが分かった。柚野の問題点を多く知り、さらに柚野の自然を守るための活動を試みたくなった。また、地域の人たちと一緒に柚野山を整備したことで、自分は柚野のために活動をすることができたと思い、嬉しくなった。

後日、昨日柚野のことについて地域の人たちに聞いた時に知った柚野の問題のうちの一つが、ごみ問題だった。地域の人たちによると、用水路や崖の下などの人の目が届きにくいところにごみがボイ捨てされているらしい。それを聞いて、柚野のごみを拾ってあげようと思った。人の目があまり届かなそうな所に行ってみると、使い終わった箸や袋、ペットボトルのキャップなどが落ちていた。自分が見つけたごみは全て拾うことができた。そして、拾ったペットボトルのキャップを使って、キーホルダーを作った。自分で言うのもあんまり良くないけど、かなり柚野の自然のために行動できた。少し大変だったけど、良いことをして気持ちよかった。これからは柚野の自然を守るためにいろんな活動をしていきたいと思えた。また地域の人たちと協力しながらやっていきたい。

昔から柚野に住んでいる祖父に、昔の柚野のことについて聞いてみた。祖父はいろいろなことを教えてくれた。祖父は、「自然は昔の方が多かったな。いろんな環境問題のせいでどんどん自然が壊されてしまっているね。これからは自然を増やしてほしいな。」と言っていた。この話を聞いて、環境を守るだけでなく、自然を増やす活動をするこの大切さが分かった。

地域の人たちは、毎週土曜日の午前中に活動をしている。前まで僕

は部活をやっていたので、なかなか活動に参加することができなかったが、もう部活を引退したのでほぼ毎週参加することができる。だから、これから行ける時はなるべく活動に参加し、地域の人たちと一緒に環境を守る活動と、自然を増やす活動を行い、柚野の豊かな自然を増やしていきたい。

僕たちには地球温暖化などの大きな環境問題を止めることは難しいかもしれない。だけど、自分達が住んでいる地域の自然なら、自分たちの力だけで守り、増やせるかもしれない。だから、日頃から自分たちが住んでいる地域の自然を守る活動をすればよい。そして、その活動を地球のみんながやれば、地球温暖化を止められるかもしれない。だから、みんなが努力して、自分たちが住む地域の自然を守ってほしい。